

医療法人 健心会 きたまち消化器・肛門外科

検査待ち時間もなく 快適な内視鏡検査を実現！

きたまち消化器・肛門外科様は1995年4月大分市東明野に開設された消化器科および肛門科を専門とした医院です。明野地区は大分市中心部の小高い丘に位置し、市内でも人気の高い住宅地のひとつです。2004年4月には大分市明野北に移転されて現在にいたります。内視鏡検査と痔の日帰り手術の専門医として、上部（胃）/下部（大腸）あわせて年間約3600件の内視鏡検査を行い、地域の方々に密着した信頼される医療に取り組んでいらっしゃいます。

また、同医院では内視鏡の洗浄消毒作業の効率化を図るため、自動ブラッシング機能付き内視鏡洗浄消毒装置『鏡内侍ⅡG』を4台導入されています。このたび、難波雄一郎院長、松井照一郎副院長、松尾看護師はじめスタッフの皆さまに内視鏡検査の状況や『鏡内侍ⅡG』についてお話を伺いました。



院長 難波雄一郎先生プロフィール

出身地：大分県杵築市
卒業大学：久留米大学医学部
勤務病院：久留米大学附属病院、公立八女病院、県立柳川病院、府中恵仁会病院、大分県立三重病院

- 日本外科学会専門医
- 日本消化器病学会認定医

「検査については、常に見落としのないよう、丁寧な診療を心がけております」と語られた難波院長。2022年の内視鏡検査は3592件あり、2022年までに発見したがんは544例にものぼります

副院長 松井照一郎先生プロフィール

出身地：熊本県熊本市
卒業大学：大分医科大学医学部
勤務病院：有田胃腸病院、厚生連鶴見病院、大分リハビリテーション病院

- 日本内科学会総合内科専門医
- 日本消化器内視鏡学会専門医
- 日本消化器病学会専門医

「2020年10月より副院長として着任しました。これからも地域の皆さまの健康維持のお役に立てるように、心のこもった診療を心掛けて参ります」と語られた松井副院長





きたまち消化器・肛門外科

開院 1995年4月
診療科目 胃内視鏡検査、大腸内視鏡検査、痔の日帰り手術、検診(個人・会社)
院長 難波 雄一郎
住所 大分市明野北1-7-1

難波院長に伺いました

内視鏡検査の状況について教えてください

開業当初は胃の検査(上部内視鏡検査)だけを行っていましたが、患者さまから大腸の検査(下部内視鏡検査)もして欲しいとの要望を受け、その後に検査を開始しました。開業当時の検査数は年間約300件程度だったのが、今では約3600(上部約1600件、下部約2000件)件の検査を行うようになりました。

内視鏡の本数も上部/下部内視鏡あわせて12本に増え、ほかに体の断面を撮影するマルチスライスCT*を導入して検査を行っています。

※センサーが複数列あるコンピューター断層撮影装置。高速で正確な画像を撮影できる

『鏡内侍』を導入したきっかけを教えてください

2004年に現在の明野北へ移転した時は、まだ内視鏡洗浄消毒装置は所有していませんでした。しかし、洗浄消毒作業が間に合わず検査に追いつかない状態が続いていたため“どうにかしなくては”と悩んでいた時に、内視鏡学会誌の広告で『鏡内侍O1』(従来モデル)の存在を知り、2007年10月に導入しました。

なぜ『鏡内侍』を選ばれたのですか

一番の理由は6分(上部内視鏡の場合)で洗浄消毒が終わるスピードです。さらに自動で内視鏡管路内のブラッシングをすると聞き、これなら洗浄消毒作業が間に合わず検査が追いつかない現状が改善されるとともに、洗浄スタッフの作業負担の軽減にもつながると考えて導入を決めました。

最初は比較的不衛生な下部内視鏡用として1台購入しましたが、すぐに上部内視鏡用にもう1台購入しました。その後、検査数の増加に伴い下部内視鏡用を1台追加しました。そして、不意のトラブルが生じても検査に支障がでないよう緊急用にもう1台を加えた結果、『鏡内侍』を計4台導入することになりました。

『鏡内侍II G』(現行モデル)の評判はいかがですか

鏡内侍を従来モデルの時から使用しているため、現行モデルの『鏡内侍II G』にも大変満足しています。

その中でも私が一番満足している点は、洗浄消毒時間です。とにかく速いので内視鏡が効率良く使え、患者さまを待たせることがありません。看護師さんたちも効率的かつ安全に仕事をこなすことができ、作業負担も軽減できます。スタッフはもちろん患者さまのことを考えた時には、内視鏡洗浄消毒装置の更新は『鏡内侍II G』しかないと思いました。

看護師さんたちにも評判は良いので、詳しくは個別に聞いてみてください。



自動ブラッシング機能付き
内視鏡洗浄消毒装置
鏡内侍II G

その結果、従来モデルから『鏡内侍ⅡG』に段階的に更新されたのですね

従来モデルを最初に導入したのが2007年10月ですから、そろそろ新しくしないといけないと考えていた時に、興研さんから2019年8月に現行モデルの『鏡内侍ⅡG』が発売されると紹介されたので、10月に先ず1台更新しました。

『鏡内侍ⅡG』も期待したとおりの内視鏡洗浄消毒装置だったので、段階的に導入することを計画し4台全て更新しました。

また、『鏡内侍ⅡG』は従来モデルと比べると大幅にスリムになったため、スペース的にも余裕ができて、看護師さんたちも作業がしやすくなったと喜んでいます。

患者さまから内視鏡の洗浄消毒について聞かれたことはありますか

そのような質問を受けたことは特にはありません。しかし、当医院では患者さまが安心して検査が受けられるように、ホームページ上で「自動ブラッシング」と「強アルカリ性電解水」で洗浄していること、さらに「強酸性電解水」で消毒する内視鏡洗浄消毒装置を4台配備して、検査後に速やかに自動洗浄消毒を行っていることを案内しています。患者さまも安心して検査を受けに来られていると思います。



従来モデルの『鏡内侍ⅡG』が4台配置されていた時の洗浄室



『鏡内侍ⅡG』が4台配置された現在の洗浄室

松井副院長に伺いました

以前勤務されていた病院でも電解水を利用した内視鏡洗浄消毒装置を使用されていたとお聞きしました

使用していました。一般的に強酸性電解水は塩素系漂白剤のような臭いがすると言われていますが、『鏡内侍ⅡG』は専用のガスフィルタが装填されているので全く気になりません。

また、その装置は内視鏡をセットする際は巻き付けでセットしていたため、結構大変でした。その点、『鏡内侍ⅡG』は内視鏡を掛けるだけでセットできるので感心しました。

高水準消毒薬を利用した内視鏡洗浄消毒装置を使用されたことはありますか

前に勤務していた病院では使用をしていたと思います。高水準消毒薬の刺激臭が部屋中に充満し、不快に感じる事が度々ありました。

また、在庫管理等に手間がかかったこと、ランニングコスト的にも高くなっていたことを覚えています。そういう意味でも電解水を利用した内視鏡洗浄消毒装置の方が理にかなっていると思います。

松尾看護師に伺いました

『鏡内侍ⅡG』の印象はどうか

最初見た時、外観が従来モデルからスリムになり格好いいと思いました。スリムになった分、作業スペー



笑顔でお話くださった松尾看護師



従来の巻き付け方式



内視鏡のセットが楽になりました

スにも余裕ができて動きやすくなりましたね。

内視鏡のセット方法も従来モデルは巻き付けるセット方法だったため時間がかかっていましたが、『鏡内侍II G』はラックに掛けるだけなので大変楽になり、時間も短縮されました。洗浄消毒スピードに関しては従来モデルから満足していたので、変わらず速いことに満足しています。私自身ストレスを感じることなく、患者さまも待ち時間がないため、スムーズな検査ができています。

お気に入りの機能があると聞きました

私が一番気に入っているのが予約洗浄機能です。内視鏡をセットした後は、確認しなくても、各電解水が洗浄消毒に必要な水量になると自動で運転が始まるため、他の作業に取りかかることができます。すごく便利で、大変満足しています。

皆様、お忙しい中ありがとうございました。



お話を伺った難波院長(中列左端)、松井副院長(前列中央)、松尾看護師(後列右から3人目)はじめスタッフの方々

本製品に関する
お問い合わせ先

ハイジニック器機ディビジョン03-5276-1920 (または当社webサイトの「お問い合わせ」をご利用ください) デモをご希望の場合は最寄りの当社営業所までお問い合わせください。



製品HP